

真鶴町史

通史編

題字 三輪 義正

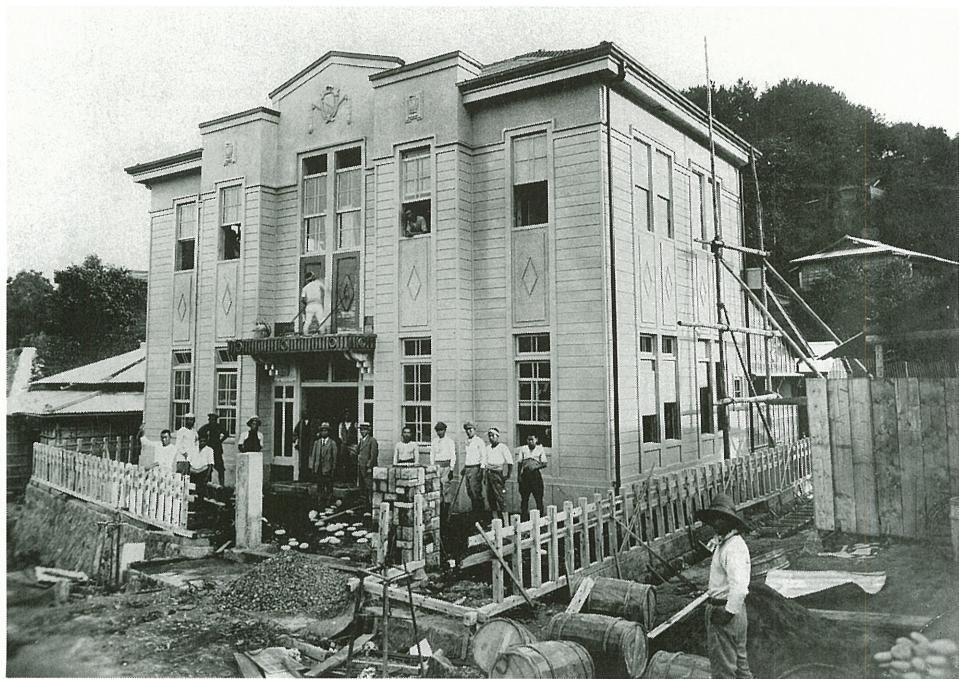


真鶴半島 全景



貴船祭り





真鶴町外二ヶ村組合役場新築工事（昭和2年落成）



鮭豊漁に活気づく真鶴魚市場（昭和30年ころ）

## 発刊のことば

昭和六十二年（一九八七）企画に着手いたしました真鶴町史編さん事業が、以来八年間にわたる町民の皆様をはじめ関係各位の御尽力と御協力をいただきながら、本書『真鶴町史 通史編』の刊行をもって終了できますことは、誠に感慨深く喜びに堪えません。

相模・伊豆の境域を占め相模灘に面した郷土の歴史には、豊かな自然環境と海山の幸に恵まれる一方、時に襲来する災害や困難な村況の克服に立ち向かう先人の労苦が刻まれています。

本書の刊行によって、そうした古代から現代（昭和三十一年―一九五六、新真鶴町誕生）までの地域の歴史の流れがはじめて明らかにされたわけです。

今日、新しいまちづくり計画が進められる中で、自分たちの住んでいる地域の姿を知りたい、あるいは子供たちに郷土の歴史を教える材料が欲しい、また生涯学習の上から郷土史料の閲覧利用施設の充実をといった声を耳にいたしますが、『真鶴町史 資料編』（既刊）と本書「通史編」は、そうした地域の皆様の要望におこたえべく時宜を得たものといえ、今後町公共施設内設置予定の「郷土史料室」とあわせて御活用いただけるものと確信いたします。



本編さん事業を終わるにあたり、編さんにたずさわられた方々をはじめ、諸資料の開示もしくは提供を快諾された所蔵者・機関各位、ならびに出版社に対し厚く御礼申し上げます。

平成七年九月

真鶴町長 三 木 邦 之



## 編集にあたって

広く町民に親しまれる町史という目標を掲げ、町史編さん事業に着手して以来七か年が経過し町民のみなさまのご協力により、『真鶴町史 資料編』『真鶴町史 通史編』を計画通り発刊することができましたことは誠に喜びに堪えません。

今回、刊行の運びとなりました『真鶴町史 通史編』は、すでに発行された資料編をもとに原始古代から昭和三十一年の真鶴町と岩村の合併までの本町の歴史を時代を追って明らかにしたものです。

とくに、本町の特徴である石材業、漁業関係の時代的背景はもとより、相互の関連を考慮いたしましたので、きつと町民のみなさまの待望と要請にこたえることができると自負するものであります。

本書は、専門的委員の手により、多くのみなさまに理解、活用されるようにと読みやすく叙述され、しかも学問的にも高い内容となっております。

本書の刊行が、地域文化の創造に役立ち、郷土の歴史や貴重な文化遺産に対する認識を深め

理解していくために広く活用されますことを期待しております。

真鶴町史編さん委員会

## 凡 例

一 本書は『真鶴町史 通史編』（全二巻）として、先史時代から新町制発足までの町域（旧真鶴町・旧岩村）を主体とする歴史を、おおむね編年的に叙述したもので、自然（地誌）・民俗・言語文化等は除外されている。

一 編成区分は次のとおりである。

第一編 原始 先史時代から古墳時代（七世紀初め）まで

第二編 古代・中世 奈良時代から戦国時代末・小田原北条氏滅亡（一五八〇〥天正一八年）まで

第三編 近世 徳川氏江戸入封（天正一八年）から廃藩置県（一八七一〥明治四年）まで

第四編 近・現代 廃藩置県後から新真鶴町制施行（一九五六〥昭和三十一年）まで

一 本文の記述には原則として常用漢字・現代仮名遣いを用い、固有名詞や特殊用語には表外字訓も使用した。

一 記述内容は史料に則した史実を基幹としたが、口碑・伝承や筆者見解についても、文脈の中でそれとわかるかたちで採り入れた。

一 難読・誤読のおそれある文字には、原則として初出箇所には振り仮名をつけ、難語には（ ）内に簡単な説明を補った。

一 表語を使い分けて、第一・四編では「資料」、第二・三編では「史料」と称した。

一 年記は西暦・和暦（明治五年以前は陰暦）併記とし、実際は両暦の間に一年のズレがある場合があるが、一般の月別表記にならない単純換算によった。

一 歴史上の人名は敬称を省略した。

一 歴史的地名や職名・職種などの呼称は、原則として記述されている時代の用例を用い、必要に応じ（ ）内に現

用名を示した。また、単に「真鶴」とあるのは、岩・真鶴両地区を含む現町域を、「県」は神奈川県を指す。

なお岩・真鶴・福浦三か町村は、明治二二年以降昭和二〇年まで役場事務組合として組織され、首長は組合長で町村長は置かれなかったが、各町村長の職名を呼称する慣習が往々見られた。したがって本書中そうした表現によった記述もある。

一 引用史料名については、『真鶴町史 資料編』は時代区分と資料番号を（『資料編』近世No.69）のように、その他の古典・刊行書名は『』で、文献・文書名等は「」で示した。

一 本文中の引用は「」で示し、独立した引用は改行し二字下げて本文と区別した。また、古典・近世文書はなるべく読み下し文または文意を現代文（用語）で記述することとし、略記は「（略）」「…」で表した。

一 図版類は、表のみに各編章ごとの一連番号をつけ、また記述する時期と合致しない写真には撮影期を添記した。

一 本書の編集・執筆分担は次のとおりである。なお、ほかに町文化財審議委員諸氏の協力を得た。

第一編 原始

湯川悦夫

第二編 古代・中世

池上裕子

第三編 近世

馬場弘臣

第一章、四、五章

椿田卓士

第二章

土井浩

第四編 近・現代

第三章

川崎勝

第一、二章

藤田和雄

第三、四、五章

藤田和雄

〔編さん事務局〕



# 真鶴町史 通史編 目次

口 絵

発刊のことば

編集にあたって

凡 例

## 第一編 原 始

### 第一章 遺跡の概況

第一節 郷土の位置と自然..... 3

地形／地質／気候／植生

第二節 真鶴の遺跡..... 5

第三節 今までの研究..... 6

江戸時代／戦前／戦後

### 第二章 縄文時代

第一節 各時期の様子..... 11

|             |    |
|-------------|----|
| 早期／前期／中期／後期 |    |
| 第二節 漁撈生活    | 15 |

### 第三章 古墳時代

|           |    |
|-----------|----|
| 第一節 古墳の出現 | 20 |
|-----------|----|

前期／中期／後期／横穴墓

|           |    |
|-----------|----|
| 第二節 真鶴の古墳 | 23 |
|-----------|----|

時期／被葬者

## 第二編 古代・中世

### 第一章 古代の郷土

|             |    |
|-------------|----|
| 第一節 相模国の郡と郷 | 27 |
|-------------|----|

大化の改新／相模国と郡／足下郡の郷

|                |    |
|----------------|----|
| 第二節 土肥郷の成立と土肥氏 | 31 |
|----------------|----|

土肥郷の成立／土肥実平の父宗平／開発領主宗平／実平とその兄弟／平氏と関東の武士

### 第二章 源頼朝の挙兵と真鶴

|                 |    |
|-----------------|----|
| 第一節 源頼朝と豆相の武士たち | 41 |
|-----------------|----|

源頼朝／伊東氏と北条氏／実平と豆相の武士たち

|     |                                             |    |
|-----|---------------------------------------------|----|
| 第二節 | 石橋山の合戦……………                                 | 46 |
|     | 挙兵の決意／実平ら参陣す／伊豆山と頼朝／石橋山の合戦／岩・真鶴から乗船         |    |
| 第三節 | 梶山と鷗の岩屋……………                                | 53 |
|     | 『平家物語』と『源平盛衰記』／すぎのまろふしのうつろ／鷗の岩屋と云谷／小浦と真鶴岩が崎 |    |
| 第四節 | 郷土の伝承……………                                  | 58 |
|     | 創作としての「鷗の岩屋」／頼朝会の「発見」／真鶴の鷗の岩屋               |    |
| 第三章 | 鎌倉・室町時代の郷土と土肥氏……………                         | 66 |
| 第一節 | 土肥実平とその子孫たち……………                            | 66 |
|     | 西国へ進出／小早河弥太郎／惟平、首を刎ねらる／鎌倉後期の土肥氏             |    |
| 第二節 | 龍門寺創建のころ……………                               | 71 |
|     | 『太平記』の中の土肥氏／兵衛入道と三河守／龍門寺の瀑布／土肥氏滅亡／その後の土肥氏   |    |
| 第四章 | 戦国時代の真鶴……………                                | 80 |
| 第一節 | 戦国大名北条氏の支配……………                             | 80 |
|     | 早雲小田原をとる／検地／家臣団の編成／段銭と棟別銭                   |    |
| 第二節 | 郷土の産業の発展……………                               | 88 |
|     | 肴・鮑・海老売買／精銭と悪銭／鮫追船／梶原番銭／かつぎ衆／代官と小代官／        |    |

北条氏の石材切出し／土屋格衛の伝説／相つぐ寺の建立／中世の終わりに

## 第三編 近 世

### 第一章 領主支配の変遷と真鶴

|              |     |
|--------------|-----|
| 第一節 近世社会の幕開け | 107 |
|--------------|-----|

大久保忠世の小田原入城／天正検地と在地支配／大久保忠隣城主となる／忠隣の改易

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 第二節 稲葉氏の治政と村の確立 | 114 |
|-----------------|-----|

稲葉正勝の小田原城拝領／稲葉正則藩主となる／寛永検地と万治検地／検地と村高／

稲葉氏の郷中条目／浦方高札／地方支配のしくみ／本百姓と潜・舟方／脇者・柄在家・無田／

百姓役目の事／船役年貢と水主役／御肴十分一／御手船と真鶴湊／真鶴村と御船御用／

岩村と御用石／さまざまな負担／稲葉氏の越後高田転封

|              |     |
|--------------|-----|
| 第三節 大久保氏の再入部 | 149 |
|--------------|-----|

大久保忠朝の入部／大久保氏の郷中条目／大久保氏の地方支配／

元禄の大地震と宝永の富士山噴火／岩村の年貢と船役金／根府川関所掛りの村／

日光社参をめぐる

### 第二章 石材業の展開

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 第一節 近世の幕開けと真鶴の石材業 | 168 |
|-------------------|-----|

真鶴と石丁場／村明細帳にみる石丁場／石切りの人々／江戸城大普請はじまる／



慶長年間の石丁場／真鶴の大名丁場／黒田氏と口開丁場／厳しい石切法度／

「永代日記」にみる石商売／石屋善左衛門

## 第二節

変わりゆく石材業……………

194

その後の大名丁場／動揺する石材業／石丁場経営の低迷／

石切りから漁業への転向／宇佐美村の石材業進出

## 第三節

江戸時代後期の石材業……………

205

不振の続く石材業／廃れた大名丁場／後期の石材業概観／嘉永・安政期の石材業／

石方六か村の動揺／「石工先祖碑」再建す

## 第四節

入会と石丁場争論……………

226

林野と入会／石丁場設定の背景／村明細帳にみる入会の様子／元禄五年の争論／

茹敷場争論再発／吉浜村の石材業進出―その一／吉浜村の石材業進出―その二／

吉浜村の石材業進出―その三／寛延二年の裁決／岩村の石丁場取り極め／

屋敷山入会争論／再発した石丁場争論／終わらなき戦い

## 第三章 漁業の展開

### 第一節

漁業のはじまり……………

251

近世の漁村／新しい漁業の進出

### 第二節

真鶴の漁場……………

256

網と漁法／漁場と網場／漁場と網場の独占／せいらうと網場／漁場をめぐる争い／

漁場の整備

|     |      |     |
|-----|------|-----|
| 第三節 | 海の年貢 | 275 |
|-----|------|-----|

さまざまな海の年貢／船役金／鰯運上／鯛長縄運上／肴十分一運上と御菜運上

|     |      |     |
|-----|------|-----|
| 第四節 | 海の諸相 | 295 |
|-----|------|-----|

出稼ぎ漁民の統制／石材業と岩の漁業／宝暦四年請浦替え／廻船／廻船の遭難／  
肥やしの配分争い／問屋支配と魚荷の流れ／漁業の衰退

第四章 真鶴の寺社と文化

|     |       |     |
|-----|-------|-----|
| 第一節 | 真鶴の寺社 | 327 |
|-----|-------|-----|

真鶴の寺院／瀧門寺とその末寺／出稼ぎ漁民の寺請／真鶴の神社・堂社／貴宮明神／  
神主平井家／神主と村人／神主と出稼ぎ漁民

|     |            |     |
|-----|------------|-----|
| 第二節 | 郷土ゆかりの禅僧風外 | 346 |
|-----|------------|-----|

奇しき出会い／空白の半生／墨蹟と言行／忽然と去る／風外の作風

|     |          |     |
|-----|----------|-----|
| 第三節 | 真鶴の伝承と文化 | 356 |
|-----|----------|-----|

真鶴の風景／鴟窟と五味演貞／鴟窟信仰の広がり／頼朝伝承の広がり

第五章 幕末維新期の真鶴

|     |            |     |
|-----|------------|-----|
| 第一節 | 近世後期の小田原藩政 | 365 |
|-----|------------|-----|

藩財政の窮乏と村の動揺／改革の気運／名君忠真の登場／酒匂河原での教諭／  
組合村と取締役／儉約令と議定書／十ヶ年御勝手向御改革／志半ばにして／役方筋分

|     |              |     |
|-----|--------------|-----|
| 第二節 | 小田原藩の海防政策と真鶴 | 383 |
|-----|--------------|-----|

|     |                                          |     |
|-----|------------------------------------------|-----|
|     | 海防意識の高まり／領分境固めと浦固め／最初の海防出役／浦賀援兵の拝命／      |     |
|     | 三浦郡の上知と下田援兵／ビットル艦隊とガテラア号の来航／相模湾の沿岸調査／    |     |
|     | 真鶴の台場／武備強化の直書／浦固め体制の再編と真鶴／ペリー来航／         |     |
|     | 品川沖台場と領内石の切り出し／三ヶ年改革とペリーの再来航／相次ぐ出役と村の負担／ |     |
|     | 御用船昇平丸の真鶴入港                              |     |
| 第三節 | 維新のうねりのなかで                               | 415 |

## 第四編 近・現代

### 第一章 近代へのあゆみ

|     |                                        |     |
|-----|----------------------------------------|-----|
| 第一節 | 近代の村の成立                                | 431 |
| 1   | 廃藩置県と村の変化                              | 431 |
|     | 明治の村／藩から県へ／戸籍を作る／大区小区の設定／岩村に残された布達綴／   |     |
|     | 会議のはじまり／七小区の会議／岩村の会議／足柄県の廃止／郡と町村に変わる／  |     |
|     | 連合戸長役場の設置                              |     |
| 2   | 新しい土地制度                                | 442 |
|     | 租税制度の改革／地券の交付／地租改正／山林の地租改正／真鶴地域での官民有区分 |     |

|     |                                                                                                         |     |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 3   | 垣間見る村の世相……………                                                                                           | 448 |
|     | 『足柄新聞』に載った投書／難船したフランス人の救助／徴兵令と西南戦争への従軍／<br>石船の遭難と信仰                                                     |     |
| 第二節 | 村をささえる産業……………                                                                                           | 453 |
| 1   | 漁業の変転……………                                                                                              | 453 |
|     | 石材業から漁業へ／小田原藩の海面政策／岩村と真鶴村・福浦村の争論／<br>真鶴村と岩村の漁場／海面官有宣言と入会漁業の再編／非力な漁業経営／<br>注目された根拵網／岩村の三艘張網／足柄下郡海産業組合の設置 |     |
| 2   | 石山会社の設立……………                                                                                            | 467 |
|     | 工部省の石山／真鶴会社（石山会社）の設立                                                                                    |     |
| 第二章 | 村の体制の確立……………                                                                                            |     |
| 第一節 | 真鶴村外二ヶ村組合の成立……………                                                                                       | 471 |
| 1   | 町村制の施行……………                                                                                             | 471 |
|     | 町村制の公布／真鶴村外二ヶ村組合の成立／組合と村の議会                                                                             |     |
| 2   | 隣接村と郡役所……………                                                                                            | 476 |
|     | 隣接村との紛争／郡の裁定／郡参事会の任務                                                                                    |     |
| 第二節 | 変わる産業のようす……………                                                                                          | 480 |
| 1   | 新しい漁法の開発……………                                                                                           | 480 |

|   |                                                                                                        |     |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
|   | 根柢網漁の停滯／漁網改良の試み／漁業組合の成立／漁業技術の開発／鰺定置網の成功／真鶴漁業株式会社／沖網鰺網へ小田原魚市場の経営参入／小田原魚市場の開業／大謀網の導入                     | 489 |
| 2 | 複雑化する漁場紛争………<br>鰺網をめぐる岩村・真鶴村紛争／神奈川県の調停／紛擾の背景／岩村の鰺網／漁業組合対日掛組合／二つの魚商組合／真鶴漁場紛争の決着／沖網・秋網の漁業権／定置漁業権の村への無償譲渡 | 489 |
| 3 | 石材業の展開………<br>陸軍省の石材採取場／一石材業者の営み／岩村の共有地の石山／石材運搬船と船長組合                                                   | 503 |
| 4 | みかんの栽培………<br>みかん栽培のはじまり／相州柑橘同業組合の成立                                                                    | 509 |
|   | 第三節 海と陸との交通………                                                                                         | 511 |
| 1 | 海への要の真鶴港………                                                                                            | 511 |
|   | 真鶴港の浚渫／浮上した真鶴港築港問題                                                                                     | 511 |
| 2 | 鉄道の時代………<br>鉄道への期待／人が押した人車鉄道／国木田独歩の乗った人車鉄道／軽便鉄道への転換／志賀直哉の乗った軽便鉄道／熱海線の開通                                | 515 |
| 3 | 郵便・電信・電話………<br>真鶴郵便局の業務／公衆電話の新設                                                                        | 523 |



|     |       |     |
|-----|-------|-----|
| 第四節 | 社会と文化 | 524 |
|-----|-------|-----|

|   |      |     |
|---|------|-----|
| 1 | 災害と村 | 524 |
|---|------|-----|

明治・大正の大海嘯／相次ぐ火災／コレラの流行と避病院

|   |              |     |
|---|--------------|-----|
| 2 | 教育の普及と文化人の往来 | 528 |
|---|--------------|-----|

学校教育の整備／幻のサナトリウム／文化人の来訪と作品／夏目漱石「真鶴行」

### 第三章 関東大震災から村の再生へ

|     |       |     |
|-----|-------|-----|
| 第一節 | 関東大震災 | 535 |
|-----|-------|-----|

|   |          |     |
|---|----------|-----|
| 1 | 大正十二年と真鶴 | 535 |
|---|----------|-----|

大正十二年／ふくらむ開発への期待／汽車よ文化を積み来れ／広がる交通網／

新たな発展の気運

|   |             |     |
|---|-------------|-----|
| 2 | 此ノ夜、藪中ニ夜ヲ明ス | 543 |
|---|-------------|-----|

大正十二年九月一日／津波の来襲／襲い来る猛火の中で／食料の確保／避難生活

|   |        |     |
|---|--------|-----|
| 3 | 流説はめぐる | 553 |
|---|--------|-----|

流された情報／流説あり／事件の発生／事態の收拾

|   |         |     |
|---|---------|-----|
| 4 | 資料の語るもの | 558 |
|---|---------|-----|

被害実態／善行美談

|     |       |     |
|-----|-------|-----|
| 第二節 | 復興の槌音 | 566 |
|-----|-------|-----|

|   |           |     |
|---|-----------|-----|
| 1 | 復興活動のはじまり | 566 |
|---|-----------|-----|

|     |                                                                                  |     |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 2   | 真鶴村復興会の設立／復興費の捻出／進む復興活動／ブラック住宅の建築<br>災害をのりこえて……………                               | 573 |
| 3   | 新たな産業活動を求めて<br>くり返す自然災害／財政構造の変化<br>産業の復興に向けて／みかん輸出の拡大／海女の活躍……………                 | 580 |
| 第三節 | 真鶴町の誕生……………                                                                      | 587 |
| 1   | 真鶴村から真鶴町へ……………                                                                   | 587 |
| 2   | 二ヶ村組合活動と伝染病予防／昭和の幕開けと真鶴村／町制の施行と大真鶴の夢<br>上水道の敷設……………                              | 591 |
| 3   | 水源を求めて／水道の開通<br>岬の開発……………                                                        | 594 |
| 第四節 | 遊園計画書は語る／保安林の解除問題と御用邸計画問題<br>漁業権問題と漁港の修築……………                                    | 603 |
| 1   | 漁業権をめぐる……………                                                                     | 603 |
| 2   | 豊漁に沸く村々／岩漁港の修築／特売派と入札派の抗争のはじまり／調停案の提示／<br>橘川職務管掌の登場／真鶴町と福浦村の張網紛争<br>真鶴漁港の修築…………… | 613 |

|                                                                                             |     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 漁港の修築に向けて／速成陳情書／修築計画書の作成／国庫補助を求めて／<br>中央での工作活動／具体化する費用捻出問題／浮沈する漁港修築計画／起工式の挙行<br>新たな教育活動を求めて | 627 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----|

|            |     |
|------------|-----|
| 1 関東大震災と学校 | 627 |
|------------|-----|

迫りくる炎の中で／真鶴小学校震災記念碑から／岡田美談と真鶴の復興／  
震災と岩小学校／真鶴小学校の再建

|            |     |
|------------|-----|
| 2 学校教育の広がり | 639 |
|------------|-----|

真鶴地域と学校／学校の一年／青年訓練所

## 第四章 十五年戦争のなかの暮らし

|              |     |
|--------------|-----|
| 1 試練のなかの町づくり | 650 |
|--------------|-----|

|          |     |
|----------|-----|
| 1 窮乏する財政 | 650 |
|----------|-----|

十五年戦争のはじまり／真鶴の無茶借り／財政切抜け策／歳入欠陥問題／続く財政窮乏

|            |     |
|------------|-----|
| 2 町づくりと暮らし | 660 |
|------------|-----|

時局匡救事業／腸チフスとのたたかい／みかんと石材の隆盛／

農村の繁栄建設に進みましよう

|              |     |
|--------------|-----|
| 2 漁港修築と海の暮らし | 671 |
|--------------|-----|

|           |     |
|-----------|-----|
| 1 漁港修築の完成 | 671 |
|-----------|-----|

真鶴漁港修築の完成／修築の工夫／真鶴漁港の県移管問題／真鶴漁港修築の効果／

|     |                                           |     |
|-----|-------------------------------------------|-----|
|     | 真鶴漁港修築と労働問題／岩漁港修築の完成                      |     |
| 2   | 海の暮らし……………                                | 683 |
|     | 豊漁に沸く村々／漁の暮らし                             |     |
| 3   | 続く漁業権をめぐる争い……………                          | 691 |
|     | 沖網処分問題の再燃／岩江漁場の紛争                         |     |
| 第三節 | 新たな町づくりをめざして……………                         | 696 |
| 1   | 朝鮮人と真鶴……………                               | 696 |
|     | 朝鮮人の来鶴／活躍する朝鮮人労働者／朝鮮人労働者の待遇改善要求／誰か権を知らないか |     |
| 2   | 変わる暮らし……………                               | 708 |
|     | 進む交通網の整備／新しい暮らしを求めて                       |     |
| 3   | 観光立町をめざして……………                            | 714 |
|     | 高まる観光立町への期待／海にぎわい／温泉の試掘                   |     |
| 第四節 | 十五年戦争の影……………                              | 719 |
| 1   | しのびよる戦争の影……………                            | 719 |
|     | 戦争の気配／戦争に向き合う暮らし                          |     |
| 2   | 戦争にほんろうされる生活……………                         | 722 |
|     | 戦死公報届く／銃後の後援活動／ゆきづまる経済活動／強まる戦時色           |     |

|     |                                                      |     |
|-----|------------------------------------------------------|-----|
| 3   | 太平洋戦争下の真鶴……………                                       | 734 |
|     | 軍部と真鶴／昭和十五年の税制改革をめぐる／終戦を控えて                          |     |
| 第五節 | 戦争にほんろうされる学校……………                                    | 742 |
| 1   | 新たな文化の息吹……………                                        | 742 |
|     | 文化活動の広がり／日本のリビエラ／与謝野晶子の来鶴                            |     |
| 2   | 変わる学校……………                                           | 750 |
|     | 真鶴の鐘／青年学校と国民学校の成立                                    |     |
| 3   | 学校日誌から……………                                          | 754 |
|     | 昭和十五年から十九年にかけて／軍隊の宿営にほんろうされる学校                       |     |
| 第五章 | 豊かな自然と観光立町……………                                      |     |
| 第一節 | 戦後民主化の波……………                                         | 763 |
| 1   | 新しい風……………                                            | 763 |
|     | 朝鮮人の帰還／農地改革の進展／真鶴町自治体警察の設置／続く戦後処理                    |     |
| 2   | 生活の向上を求めて……………                                       | 774 |
|     | 沖網漁業権問題のはじまり／沖網漁業権問題の混迷から解決へ／事務組合の解散と復活／生活基盤の充実をめざして |     |
| 第二節 | 進む町づくり……………                                          | 784 |
| 1   | 漁港の整備……………                                           | 784 |



略年表

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| キティ台風の来襲／真鶴漁港の再修築／灯台の再建／港をとりまく環境      | 793 |
| 2 真鶴半島の開発                             | 793 |
| 国有林の払い下げ／観光道路の完成／温泉湧出の夢／県立公園の指定／      |     |
| 紆余曲折する岬の開発                            |     |
| 第三節 戦後教育のはじまり                         | 806 |
| 1 六・三制教育の登場                           | 806 |
| 終戦の混乱の中の学校／六・三制教育のはじまり／組合立中学校の設立／     |     |
| 行き悩む中学校の校舎建設／教育行政制度の変化                |     |
| 2 社会教育活動の広がり                          | 817 |
| 社会教育の整備／広がる社会教育の活動／新生活モデル町村選定団体事業報告から |     |
| 第四節 新生真鶴町の誕生                          | 826 |
| 1 町村合併のうねり                            | 826 |
| 西相町村合併調査協議会の成立／鵜飼案の登場／県の町村合併計画書／      |     |
| 夢と消えた湯河原町との合併                         |     |
| 2 新生真鶴町の誕生                            | 842 |
| 新たな合併の模索／岩村への合併申し入れ／合併協議の成立／新生真鶴町の誕生  |     |
| 略年表                                   | 851 |

町史編さん関係者  
あとかぎ